

## 規制を基準とせず、リアルワールドでひとりでも多くの人を救う。

安全運転支援技術の開発において、Hondaには明確な考え方があります。リアルワールドでひとつでも多くの交通事故を防ぎ、ひとりでも多くの人を救うということ。そのために最も重要なのは「現実の事故を知ること」にほかなりません。

開発にあたってはさまざまな事故実態データを分析し、事故削減や被害軽減に役立つ技術を率先して開発しています。

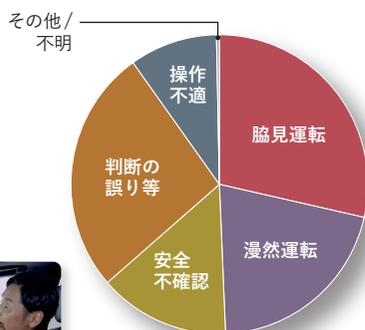
### ■ 高速道路走行時の運転負荷軽減

高速道路で発生する事故の多くがドライバーのヒューマンエラーに起因しています。また、ドライバーの人的要因をみると約半数が脇見運転もしくは漫然運転です。これらのことからHondaは、高速道路事故の削減には運転負荷を軽減することが重要と考え、先進安全技術の新たな一歩となるトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の実現をめざしました。

### 高速道路走行時の 運転負荷軽減を追求

- ハンズオフ機能
- 渋滞運転機能  
など

高速道路1当人的要因※



出典：交通事故総合分析センター  
「高速道路」とは、高速自動車国道及び指定自動車専用道路をいう。  
第1当事者が自動車である事故件数を集計。



※ 高速道路事故発生時の人的要因。